

「脳とICTに関する懇談会」開催要綱

1 背景・目的

「グローバル時代における ICT 政策に関するタスクフォース」の「地球的課題検討部会」では、環境問題や医療問題等の世界各国が直面している地域的・地球的課題を克服するための方策について検討を行っている。

脳情報通信技術は、そのような地域的・地球的課題の克服の一環として、高齢者やチャレンジド（障がい者）の支援への適用が期待されているとともに、超低消費エネルギーで不測の事態に柔軟に対応できる情報通信ネットワークを実現しうるものとしても期待されており、今般、短・中期的及び長期的に取り組むべき課題について検討することを目的として「脳とICTに関する懇談会」（以下、「懇談会」という）を開催する。

2 検討事項

懇談会は、以下の事項について検討する。

(1) 短・中期的に取り組むべき課題

脳活動を介して意図や動作を機械に伝える技術の高齢者・チャレンジド（障がい者）への適用方策

(2) 長期的に取り組むべき課題

- ・脳活動を介して意図や動作を機械に伝える技術の高度化方策
- ・脳に学ぶ効率的な情報ネットワーク技術の実現に必要な要素技術の確立方策

3 構成及び運営

- (1) 懇談会は、総務大臣の懇談会として開催する。
- (2) 懇談会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 懇談会には主査及び主査代理を置き、別紙に記載する構成員の中から総務大臣があらかじめ指定する。
- (4) 主査は、懇談会を招集する。
- (5) 主査代理は主査を補佐し、主査が不在の時は、その職務を代行する。
- (6) 懇談会は、非公開とする。ただし、議事要旨を作成し、主査の了解を得て公開する。
- (7) その他、懇談会の運営に関し必要な事項は、主査が定めるところによる。

4 開催時期

懇談会は、平成22年4月から平成23年3月までを目処として開催する。

5 庶務

懇談会の庶務は、情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室が行う。

構成員名簿

（敬称略、五十音順）

◎	柳田 敏雄	大阪大学大学院生命機能研究科 教授
○	川人 光男	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 総研所長
	石井 信	京都大学大学院情報学研究科 教授
	大岩 和弘	情報通信研究機構 神戸研究所 所長
	苅阪 満里子	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
	金子 邦彦	東京大学大学院総合文化研究科 教授
	北澤 茂	順天堂大学医学部 教授
	小泉 英明	株式会社日立製作所 基礎研究所 フェロー
	佐倉 統	東京大学大学院情報学環 教授
	鈴木 陽一	東北大学電気通信研究所 教授
	田中 啓治	理化学研究所 脳科学総合研究センター 副センター長
	東倉 洋一	国立情報学研究所 副所長
	土井 美和子	株式会社東芝研究開発センター 首席技監
	星宮 望	東北学院大学 学長
	村田 正幸	大阪大学大学院情報科学研究科 教授
	横澤 一彦	東京大学大学院人文社会系研究科 教授
	渡邊 武郎	ボストン大学 教授

◎：主査、○：主査代理